



電話機とユーザの検証

Cisco Unified Communications Manager 一括管理 (BAT) を使用すると、Cisco Unified Communications Manager サーバ上にユーザのグループとその電話機を 1 回のバルク トランザクションで追加できます。電話機用の CSV データ ファイルを作成するには、次の 2 つのオプションがあります。

- BAT スプレッドシート (BAT.xlt) を使用し、データを CSV 形式にエクスポートする。
- テキスト エディタを使用して、CSV 形式のテキスト ファイルを作成する (経験豊富なユーザ向け)。

[ユーザ付きの電話の挿入] オプションにアクセスするには、Cisco Unified Communications Manager の管理ページのメインメニューから [一括管理] > [電話とユーザ] を選択します。

始める前に

1. カンマ区切り値 (CSV) データ ファイルを作成して、検証する電話機およびユーザごとに個々の値を定義します。
 - 詳細については、[P.26-2](#) の「[電話機レコードとユーザレコードの検証](#)」を参照してください。
 - テキストベースの CSV ファイルについては、[P.A-3](#) の「[電話機とユーザの組み合わせのファイル形式](#)」を参照してください。
2. ファイル形式と CSV データ ファイルを関連付けます。
 - 詳細については、[P.4-7](#) の「[ファイル形式と CSV データ ファイルの関連付け](#)」を参照してください。

電話機レコードとユーザレコードの検証

[電話 / ユーザの確認] を選択すると、システムが検証ルーチンを実行して、CSV データ ファイルおよび BAT 電話機テンプレートで、デバイス プールやロケーションなどのすべての必須フィールドが指定されているかどうかをチェックします。この検証によってチェックされるのは、デバイス フィールドとそのデバイス フィールドが依存するフィールドだけです。ユーザ フィールドは検証されません。

始める前に

- 追加するデバイスの BAT 電話機テンプレートが必要です。単一回線または複数回線を持つ電話機を追加するには、複数回線を持つマスター電話機テンプレートを使用できます。詳細については、[P.1-5](#) の「[マスター電話機テンプレート](#)」を参照してください。
- 次のオプションのいずれかによって作成された CSV データ ファイルが必要です。
 - [電話機レコードとユーザレコードの検証 \(P.26-2\)](#)
 - [電話機とユーザの組み合わせのファイル形式 \(P.A-3\)](#) で、テキストベースの CSV ファイルを作成

CSV データ ファイルのレコードを検証する手順は、次のとおりです。

手順

-
- ステップ 1** [一括管理] > [電話とユーザ] > [電話 / ユーザの確認] の順に選択します。[電話 / ユーザの確認 (Validate Phones/Users Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [ファイル名 (File Name)] フィールドで、この特定のバルク トランザクション用に作成した CSV データ ファイルを選択します。
- ステップ 3** [電話テンプレート名 (Phone Template Name)] フィールドで、このバルク トランザクション用に作成した BAT 電話機テンプレートを選択します。
- ステップ 4** [送信] をクリックして、ユーザと電話機を検証するジョブを作成します。
- ステップ 5** [一括管理] メイン メニューの [ジョブスケジューラ] オプションを使用して、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。

ジョブの詳細については、[第 63 章「ジョブのスケジュール」](#)を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、[P.64-4](#) の「[BAT ログ ファイル](#)」を参照してください。

その他の項目

詳細については、[P.26-2](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

関連項目

- [電話機とユーザの組み合わせのファイル形式 \(P.A-3\)](#)
- [ファイル形式と CSV データ ファイルの関連付け \(P.4-7\)](#)
- [BAT ログ ファイル \(P.64-4\)](#)
- [ジョブのスケジュール](#)